

# 目指す学校像（基本理念・基本方針(コンセプト)） について（案）



令和8年3月  
有田町 学校教育課

# 1-1. 新しい中学校の踏まえるべき視点

これまでの調査から抽出された、新設校が応えるべき「期待」と「要請」の整理



## 国の動向

個別最適・協働的な学び、STEAM・ICT教育の実現。  
防災機能強化(避難所)やZEB・木材活用による環境  
貢献が必須要件。



## 町の上位・関連計画

持続可能なまちづくりへの寄与。安全・安心な施設  
(長寿命化)と、地域活性化の核となる「コミュニテ  
ィ・スクール」の推進。



## 児童・生徒の声(WSより)

「きれいなトイレ・エアコン」の快適性と、図書館や中  
庭など教室以外の多様な「居場所」への強い渴望。



## 町民(保護者等)の声(アンケートより)

通学路と立地(災害)の「安全」を最重視。  
施設設備と教育内容の両面における「質的向上」への  
強い期待。

## 1-2. 有田町の教育の根幹 ～有田町教育大綱の精神～

新設校が応えるべき「期待」と「要請」とともに、有田町教育大綱の精神「つなぐ・つどう・かたる」を踏まえる

### 有田町教育大綱の精神 「つなぐ・つどう・かたる」



#### 「未来へつなぐ」

夢や志を持ち、課題解決に挑む次世代型人材の育成を目指します。



#### 「つどう」

学校・家庭・地域が互いに集い、信頼関係を深め好循環を生む場をつくります。



#### 「かたる」

対話を通じて互いを尊重し合い、強固な関係を築く教育を推進します。

## 2. 新設校の基本理念(案)

先の要素を統合し、有田町の未来を拓く新しい中学校が目指すべき姿として、以下の理念を設定します。

有田町の未来を拓く新しい中学校が目指すべき姿

**豊かな自然に囲まれ、地域とつどい、  
未来へつなぐ学びの舎(いえ)**

# 理念に込める想い(1)

## 「豊かな自然に囲まれ」～場所の価値を学びに～

「歴史と文化の森公園」の環境そのものを、最大の教育資源と捉えます。

- 窓外に広がる森や広場、歴史的遺産を「生きた教材」として日常的に活用します。
- 災害に強い高台という立地を活かし、生徒と地域住民を守る防災機能を備えます。



## 理念に込める想い(2)



文部科学省 学校施設整備・活用のための共創プラットフォーム(安平町立早来学園):[https://www.mext.go.jp/co-sha/ideas/case\\_hayakita\\_00001.html](https://www.mext.go.jp/co-sha/ideas/case_hayakita_00001.html)

### 「地域とつどい」～開かれた共創の場へ～

学校は閉じた空間ではなく、地域社会とゆるやかにつながる場所です。

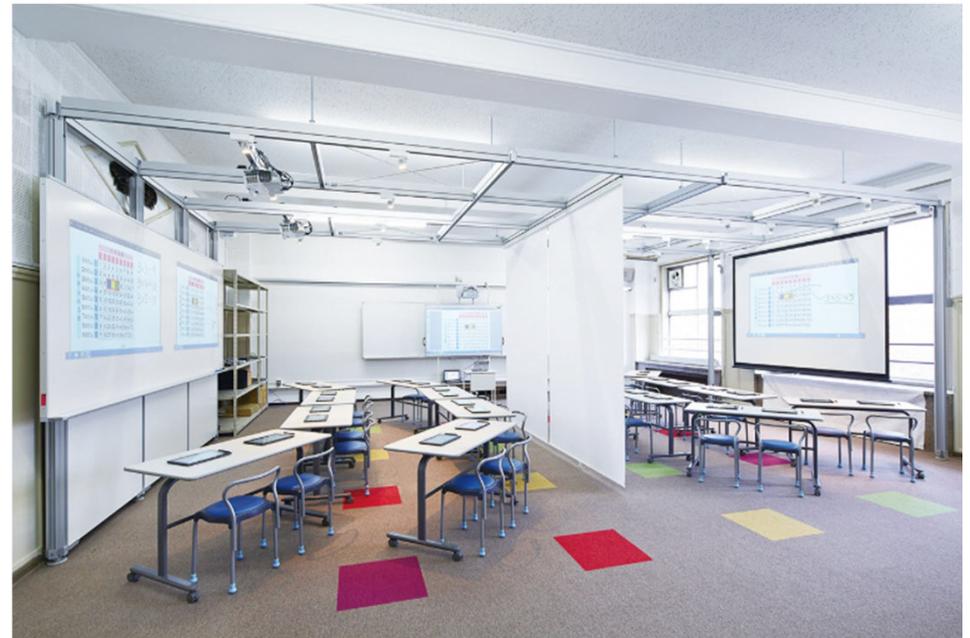
- コミュニティ・スクールを基盤とし、地域の多様なリソースが教育に参画します。
- 図書室や体育館を地域の生涯学習・交流拠点として活用します。

## 理念に込める想い(3)

### 「未来へつなぐ」～新しい時代の質の高い教育～

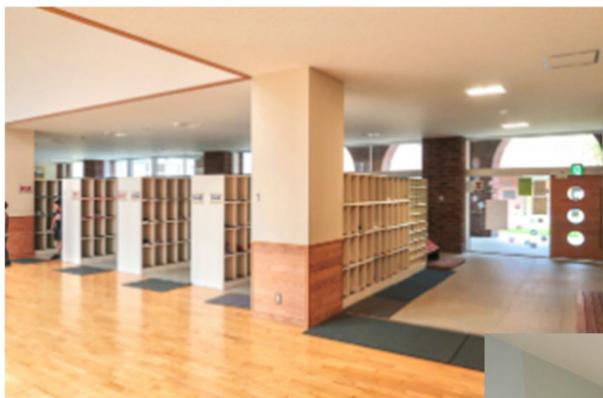
ICTやSTEAM教育を通じ、変化の激しい社会を生き抜く力を育みます。

- 自ら課題を見つけ、解決に挑む力を養う高機能な学習環境を整備します。
- GIGAスクール構想に対応した最新のインフラを完備します。



文部科学省 学校施設整備・活用のための共創プラットフォーム(筑波大学付属小学校):[https://www.mext.go.jp/co-sha/ideas/case10\\_tsukuba.html](https://www.mext.go.jp/co-sha/ideas/case10_tsukuba.html)

## 理念に込める想い(4)



文部科学省 学校施設整備・活用のための共創プラットフォーム(糸魚川市立糸魚川小学校・糸魚川市立ひすいの里総合学校)  
: [https://www.mext.go.jp/co-sha/ideas/case10\\_tsukuba.html](https://www.mext.go.jp/co-sha/ideas/case10_tsukuba.html)

### 「学びの舎(いえ)」～安心できる居場所～

一人ひとりにとって心理的に安全で、温かみのある「ホーム」を目指します。

- ユニバーサルデザイン、清潔なトイレ・空調による快適性を徹底します。
- 誰一人取り残さないインクルーシブな環境を実現します。

### 3. 基本方針(案)【方針1:探求】

## 一人ひとりの探究力を育む学校づくり

～ ICTを使いこなし、教科の枠を超え、「生きた教材」を活かす ～

#### 可変性のある学習空間

一斉・グループ・個別の多様な学習に対応できる、可動間仕切りやオープンスペースの活用。

#### 探究コモンズ

理科・技術・美術等の特別教室を連携させ、教科横断的なプロジェクト学習を支えるゾーニング。

#### フィールド活用

「歴史と文化の森」の自然や歴史資産と校舎を連続させ、屋外体験活動を容易にする配置計画。

### 3. 基本方針(案)【方針2:居場所】

## 誰もが安心できる「居場所」であり、「地域とつどう」学校づくり

～ 生徒の心の安定を支え、地域に開かれ、多世代が交流するコミュニティの核へ ～



#### 総合的な自主学習のための環境

校舎の中心に配置し、学習・読書・交流の場となる、開放的な図書空間(ラーニングコモンズ)の確保。



#### インクルーシブな居場所づくり

相談室やクールダウン室、校内教育支援センターなど、多様な生徒が安心して過ごせる「小規模な居場所」の点在配置。



#### 学習・生活環境の質的向上

生徒の尊厳を守る清潔な「乾式・洋式トイレ」、全館空調、更衣室等の学習・生活環境の質的向上(快適性)。

### 3. 基本方針(案)【方針3:安全】

## 「安全・安心」を確保する、「持続可能」な学校づくり

～ 地域を守る砦となり、永く大切に使い続けられる賢い学校へ ～



#### 安全な通学環境と動線の確保

スクールバス運行を前提とした「大型バス対応ロータリー」や適切な駐車場確保など、歩車分離を徹底した安全な動線計画。



#### 防災拠点機能の確保

避難所機能として、体育館への空調・非常用電源整備、備蓄倉庫の確保など、地域住民の安全を守る機能を強化。



#### 環境配慮・長寿命化への対応

ZEB化の推進、メンテナンスフリー化、地域産材の活用により、ライフサイクルコスト(LCC)を縮減した「持続可能な施設」の構築。